

ユニオン

2025年4月15日 発行

2025年 春号

<第65号>

編集・発行／社会福祉法人ワークスユニオン 代表／池田直樹 テ551-0001 大阪市大正区三軒家西1丁目17-18 TEL06(6556)0881

法人忘年会

ゆるスポ

旅行の思い出

和の一年間の中で一番楽しかったことは、岡山の旅行です。ヤクルト工場ではつば九郎がバットを打つり、キー ホルダーを作りました。最近、つば九郎のスタッフが亡くなつたと聞いて、とても残念です。

「びぜんや甲子」の旅館に泊まりました。前に来たこともあります。カラオケをしました。おもしろい話もしました。特におもしろかつたのは、私が職員の顔の前で、屁をこいたことです。みんなで大笑いしました。

おもちゃ王国では、機関車など乗りものに乗りました。とても楽しかつたです。来年度の旅行は、長崎、福岡、佐賀に（九州旅行）に行きたいと思います。

細野 早苗

法人全体行事

昨年の12月に法人忘年会、今年の1月にゆるスポーツフェスティバル（以下ゆるスポット）と法人全体の行事を2つ行いました。特にゆるスポットは、今回初めて法人全体に参加募集を募り、いつも以上に盛り上がり楽しんでもらえたと思います。今回はその2つの行事の報告をさせてもらいます。

法人忘年会

令和6年12月14日に昨
年と同じくプリムローズ大
阪にて法人忘年会を開催し
ました。

今回は卓盛での食事提供になり、パートーションが解除され、また利用者さんと同じテーブルに職員も着席ができ、やつとコロナ禍

ました。

言・乾杯の音頭・閉会宣言を利用者さんにお手伝い募集をして一緒に盛り上げて貢っています。

開会宣言の担当になつた
Aさんは、日頃誰にでも気
軽に話しかける事が出来る

終盤の「Y M C Aで踊ろ
う」は、コロナ禍中は真っ先

すが、今年度は場所を新たに鶴見区民センター『つるみ日建ホール』で開催しました。体育館の用途では使えないため、担当職員間でアイデアを出し合い、これまでとは違う競技を組み込み、久々に一日開催のプロ

ゆるスボ

立ち上がり、腕を上げて笑顔で踊っている姿は新鮮でした。

や楽しみ方は様々でした。その中でも普段クールっぽく見えるBさんが席の側で立ち上がり、腕を上げて笑顔で踊っている姿は新鮮でした。

らないけど、その場で一緒に歌つたりと盛り上がり方

に中止になり、4年ぶりの復活です。音楽が鳴り始めると利用者さんの一部は二

昼食をはさみ、午後からは「和・匠・UNION★STAR's」のダンス発表や「ボッチャ」を行いました。初体験の利用者さんも多く、担当者でアレンジしたルールで競技を行いまし

午前中は一魚釣りゲームで、シート内に、魚を散りばめた釣竿で釣り上げた数を競うというゲームを行いました。釣竿を短く持つたり、長い竿が密集していらない場所で多くの魚を狙うなど、それを作戦立てて競技を楽しんでおられ、Aさんは「狙った魚はなかなか釣れないは

ゆるくみんなで楽しめる
「ゆるスポ」、今後もみんな
んで楽しめるよう(計画)に
たいと思います。(高橋)

当日輝いていた利用者さんをたくさん表彰しました。ドラムロールが鳴ると、誰が呼ばれるのか、ワクワクしておられるのも印象的でした。参加賞として故・道田篤史さん作の鯉のぼりをプレゼントした缶バッジを配布し、在りし日の故人を懐かしむ場面もあり、ほっこりする時間も流れました。

もみなさ
に計画」
(高橋

ユニオン

第65号(年4回発行)

藤田 昌義さんへ

令和7年2月18日火曜日に、藤田昌義さんが逝去されました。藤田さんは、「ルネッサンス」で生活し、日中は「匠」を利用されていました。若い頃には自衛隊に入隊しており、運動をよくしていましたと話していました。また絵心もあり、とても独特な表現で素敵な作品を創作されていました。お話をされる際の言葉選びが非常に魅力的で会話を通じて心が和むことが多々ありました。昨年は治療をしながらも匠に通っていましたが、12月からは長期の入院を余儀なくされました。藤田さんの明るい声が聞けなくなりさみしい今日この頃です。ご冥福を心からお祈り申し上げます。

(職員一同より)

▼藤田さん長い間おせわになりました。早く天国へ行きました。道田君や石井敏子さんに会っていますね。小野原さんのどこへ行つてますね。

竹村和子

▼藤田さん天国で元気いで下さい。歩でも仲良かつたし、事業所旅行でも仲よかつたし、匠でも仲良かつたし、野外活動の時もなかなかつたのです。藤田さん

▼「なんまいだ！」いつかまた会つて旅行に行つて二人でたばこを吸いたい。

浦島富雄

▼やつくりやすんですね。天国でみんなをまもつてね。メゾンで過ごしたね。藤田さんさようなら。日向弘志

▼私は藤田くんがなくなつてとてもさみしいです。元氣で匠に戻つてきてほしかつた。では、藤田君あの世から匠のみんなを見守つてね。

桑田悦子

▼ゆつくりやすんですね。天国でみんなをまもつてね。メゾンで過ごしたね。藤田さんさようなら。日向弘志

金邊裕美

▼長い間たくさんでゆつくりとすごしていましたね。天国にいかれですごくさみしい気持ちでいっぱいです。私もすこしづつ元気を出してたくさんでごします。

大住優子

▼旅行に行つた時が楽しかつたです。出雲大社に行つた時がとてもよかったです。

山形繁雄

▼悲しかった。歩のとき、仲良くしてくれてありがとうゆつくり休んでください。みんなとがんばつてくれた。さんばついつしょに行ってくれた。

山崎健也

▼いつもごはんの時いつもになりましたね。ふじたさんが食どうに来ないのでさみしいです。天国でゆつくりすごしてください。

笛山和義

▼買い物一緒にいつてくれて楽しかった。絵もきれいにしている食堂でいろいろ話でじょうずだった。ふじたさんありがとうございます。田中光恵

▼さようならまた天国行つてさみしかつた。ダンスもいつしょにいつもありがといね。いつでもおもつときたいです。

佐々木一行

杉岡慎也

久しぶりの大舞台

UNION STAR

s」は、2月2日（日）アブダ高石ホールにて行われたダンス発表会に参加しました。大きな舞台での発表は2年ぶりとなります。

ていました。なんとか本番までに仕上げることができ、当日は、出番直前まで発表曲を流し続けて気持ちを皆で高めっていました。

今年の2月15日に滋賀県の箱館山スキー場まで利用者さん19名、職員19名で、

も大変好評で、中にはもう一回乗りたい！と話す方もいました。

編集後記

までに仕上げることができました。なんとか本番当日は、出番直前まで発表曲を流し続けて気持ちを皆で高めっていました。

マイクや衣装などの準備は、ダンスメンバーだけでは時間的に難しく、いろいろな人たちに助けてもらいました。積雪も1メートルあり、雪質もパウダースノーで大変なとか乗り切ることがで、遊びやすい環境でしたが、快晴で少し暑いくらいのコ

今年の2月15日に滋賀県の箱館山スキー場まで利用者さん19名、職員19名で、雪山へgo!!

ンディイションでした。

あるかと懸念していました
が、皆さんリハーサルの時
にも堂々としていてとても
心強かったです。

ができました。

現地到着後、毎回苦労するのと、それは昼食で、今回もいつもの山小屋は大混雑で、席をとるのも一苦労でした。 昼食後は今回の目玉であるスノーラフティングに挑戦しました。雪上用ゴムボートに乗り、スノーモービルで引つ張つてもらい、雪

その後はいつもの遊び場でくか何度も話し合い、当日に向かい、ソリ遊びや雪合戦を迎える。▼毎年担当が変わることから同じ行事であつて丘から滑り降りるソリ遊びも担当者たちの個性が表れは毎回利用者さんも楽しみに違う色の行事となる。▼私はしているようで、何度も聞くはというと毎年同じもので丘を登り、滑り降りるのを、はなく、出来る限り新しい楽しんでいる利用者さんの、ものをしてい、と思つてい

今回は体調不良などで練習を欠席する人が多く、いつもより練習量が少ない状態で、ギリギリまで苦戦し

今年は、9月14日（日）山を周回する遊びでしたが、「大阪・関西万博」にてダンス発表させてもらうことにスケジュールを配慮してくれたことなりました。初めてのこともあり、それほど怖くないので、今からドキドキしますが、チーム一丸となって頑張って練習していくので、応援よろしくお願いします。（横田）

表情が印象に残りました。▼行事が利用者さんに
チーム対抗雪合戦も、的をとつて楽しめるもの、季節
持った職員目掛け、思い切った感動を感じられるもの、みんな
り雪玉を投げつけて笑つてで集まるもの。それぞれの
いた利用者さんの笑顔をみ受け取り方で、それぞれ楽し
て、普段雪を見ることが多いのを楽しんで頂けたらと思う。▼
い都会生活からの非日常体験はいいなと感じるゆきあ
る。こんな行事がしたい！とこ
そびになりました。（濱野） にお寄せください。（K）